

今日のトピック 自動車業界の2022年度4-6月期決算 円安は追い風だが、半導体不足による減産等で減益

円安効果はあるものの、2022年度業績予想は保守的な見通し

- 自動車大手の2022年度4-6月期決算は、大幅な円安の影響で売上高が膨らんだものの、本業のものを示す営業利益は3社とも前年同期比で減益となりました。新型コロナウイルス感染拡大に伴う上海市のロックダウンや、半導体などの部品不足の影響による減産、原材料価格と物流費の上昇などが響き、利益を圧迫しました。また、2022年度の業績予想については、ホンダが円安効果から営業利益について上方修正したものの、トヨタと日産は据え置いており、総じて保守的なものとなりました。
- トヨタグループ主要8社の2022年4-6月期決算は、豊田通商を除く7社の営業利益が前年同期比で減益となりました。主要顧客のトヨタの減産に加え、原材料価格や物流費の高騰が響きました。また、2022年度の業績予想については、半導体などの部品不足の長期化や原材料価格などの上昇から、概ね保守的な見通しとなりました。

【自動車大手3社の連結業績】

企業名	売上高 (億円)		営業利益 (億円)		22年度為替想定 (円) (円/米ドル)
	22年6月期	23年3月期見通し	22年6月期	23年3月期見通し	
トヨタ自動車	84,911 (+7.0)	345,000 (+9.9)	5,787 (▲42.0)	24,000 (▲19.9)	130
ホンダ	38,296 (+6.9)	167,500 (+15.1)	2,222 (▲8.6)	8,300 (▲4.7)	125
日産自動車	21,373 (+6.4)	100,000 (+18.7)	649 (▲14.2)	2,500 (+1.1)	120

【トヨタグループ各社の連結業績】

企業名	売上高 (億円)		営業利益 (億円)		22年度為替想定 (円) (円/米ドル)
	22年6月期	23年3月期見通し	22年6月期	23年3月期見通し	
デンソー	14,150 (+4.3)	62,200 (+12.8)	636 (▲40.6)	4,800 (+40.7)	130
アイシン	9,979 (+2.1)	44,500 (+13.6)	66 (▲89.0)	1,900 (+4.4)	115
豊田自動織機	7,596 (+23.1)	31,000 (+14.6)	436 (▲24.1)	1,700 (+6.9)	130
豊田通商	23,756 (+26.9)	*	1,023 (+34.7)	3,100 (+5.4)	130
ジェイテクト	3,716 (+8.0)	16,000 (+12.0)	28 (▲67.0)	540 (+48.3)	115
トヨタ紡織	3,503 (▲1.1)	15,700 (+10.5)	34 (▲80.9)	610 (+1.2)	130
豊田合成	2,095 (+3.1)	8,600 (+3.6)	31 (▲72.1)	430 (+25.8)	115
愛知製鋼	669 (+8.6)	3,010 (+15.7)	▲12 (-)	10 (▲53.3)	*

(注1) カッコ内は前年同期比増減率、単位は%。日産自動車以外は国際会計基準。

(注2) トヨタ自動車の主要グループ8社は日本経済新聞社の分類による。

(注3) (*) 豊田通商の今期売上見通しと愛知製鋼の今期為替前提は未公表。

(出所) 各社決算資料を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

ここも
チェック!

2022年7月29日 技術開発のため資金調達・投資が続く『モビリティ』業界
2022年5月20日 好業績が目立った自動車業界の2021年度決算

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。